

ヲ爲スルノ、謂フニ又之ヲ使用上ノ消費(Gehranzas Consumption)ト云フ此消費中
 其ノ本業ヲ目的トスルモノモ享樂的消費ト云ヒ之ニ反シテ一物ヲ他物ヲ生産ス
 ル爲メニ使用セラレタルモノハ是レ轉種ノ物也成サシキ爲メニ其一般の物能
 ヲ制限スルモノニシテ(註)其ノ制限ハ實ニ生産ノ條件(註)タリ此ノ如ク生産ノ條
 件タル消費ハ之ヲ生産的(註)消費ト云フコトヲ得ヘシ何トナレハ消費セラレ
 タル物能ハ形ニ於テ却テラレ、其新産物中價值トシテ存生スルモノナレハナ
 リ此ノ生産的消費ニ對スルモノハ不生産的消費ナリ不生産的消費ニ屬スルモノ
 ハ獨リ各種ノ經濟上ノ損失並ニ有害ナル出費ノミナラス此ノ外ニ有益ナル目的
 ニ向テテ餘分ニ支出シタル各種ノ出費ヲモ包含スルモノナリ
 故ニ由ル不生産的消費中消費要素ノ如キハ極力排斥セラルヘクテナルモ所關
 者修ニ應テテハ必スモ之ヲ調整スルカヲ要スルモノアリ蓋シ最近ナル經濟上ノ
 目的ニ於テ人類ノ生活上若クハ其ノ生産上必要ナル方法ニ由ルノ外既存ノ價值
 ヲ消費スルハ其ノ多ク少ク觀スルトモ其ノ如何ニ奢侈之ヲ排斥セラルカヲ要スルナリ然

以テ此處ニ於テ總體ニ對シテ觀念ヲ持テテ人類ノ需要ヲ其最も緊要ナルモノ
 ニ制限スルトモ其知テ大ナル弊害又ニ其結局又經濟上ノ目的ニ反スルニ至ルヘ
 キコト更知ラサルヘカラス抑モ吾人人類ノ生活ノ目的タルヤ成ルヘク僅少ノ費
 用ヲ以テ多量ノ物能ヲ生産スルニ在ラスシテ寧ロ其安寧幸福ヲ得ントスルニ在
 スルニアラテラシヤ此目的ハ最も緊急ニ且ツ最も普通ナル必要ヲ充タスノミニ
 依リテ之ヲ達シ得ヘキニアラス即チ人類ノ精神上並ニ肉體上完全ニ發達シ得ヘ
 キ或ル幸福的生活ヲ營爲スルニヨリテ初メテ之ヲ達シ得ヘキナリ例ヘハ適度ノ
 遊觀行樂ニ要スル消費ノ如キ文學技術ヲ增進スル消費ノ如キ住居庭園ノ裝飾ノ
 如キ儀式祭典ノ消費ノ如キ公園美術館競技會音樂會又ハ運動會ノ如キハ直接間
 接ニ生産力ヲ養ヒ又ハ思想品位ヲ高尚ニシ或ハ一時心身ノ快適ニ供シテ他ノ有
 害ナル消費ヲ避ケシメントスルノ效アルモノト云フコトヲ得ヘシ故ニ奢侈其モ
 ノハ絕對ニ非難スヘキモノニアラス要ハ只適度ヲ得ルヤ否ヤニ存スルノミ彼ノ
 所謂奢侈ハ殷富ノ結果ニシテ殷富ノ存在スル處ニ限リテ奢侈ノ永續ハ期セラル
 ヘキカ故ニ奢侈ハ一國ノ殷富ヲ衰弊スルカ良兆候ナリトノ理由ヲ以テ適度ノ奢

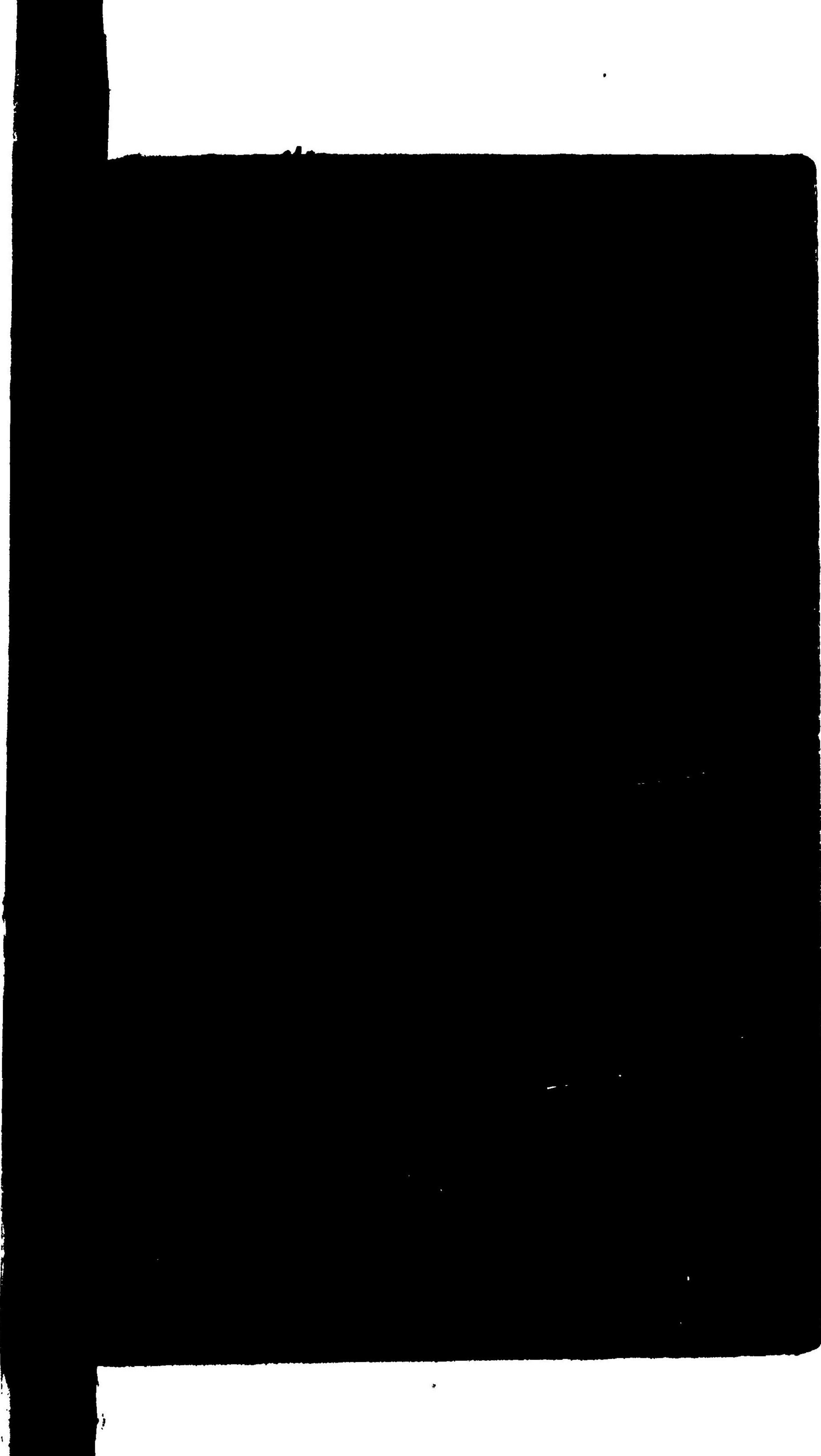
經濟上ニ於ケル成功ハ主トシテ消費高ト生産高トノ均衡ヲ保ツニ存スト云フニ
歸スルナリ

然ルニ消費ノ高ハ第一ニ財產及ヒ所得ノ分配如何ニヨリ第二ニ所得ノ剩餘ヲ察
見ニ且ツ安全ニ利用シ得ルヤ否ヤニヨリ第三ニ國民ノ一部若クハ全部ノ意向ニ
ヨリ第四ニ國家及ヒ公共團體ノ消費ノ方向及ヒ數量ニヨリテ時々ニ變動シ此等
ノ事項モ亦結局一國ノ生産高ニヨリテ配支セラルヘカ故ニ消費ハ大體ニ於テ生
産及ヒ生産ニヨリテ得ヘキ所得ヲ超過スルモト能ハサルモノト云フコトヲ得ヘ
シ然レドモ生産高ニシテ増加スルモトキハ消費増加シ消費高ニシテ増加スルモトキ
ハ生産増加スルノ傾向アル故ニ消費ハ生産トノ間ニハ互ニ一方ノ額増加スル
トキハ自然他ノ一方ノ額亦増加スルニ關係ヲ具シ消費ト生産トハ常ニ均衡ヲ
保テテ發達進歩スルモノニシテ範圍者ノ間ニハ永久ノ不均衡アルモノ侵入スル
コト能ハサルノ理ナリ唯夫ハ實際ニ於テ常ニ此ノ如キコト能ハス場合ニヨリ
一時地均衡ニ上ル障礙ヲ生スルニ由リ其ハ一時ノ消費力因一時ノ所得ニ由
リテ以テ實ニ資本ノ消耗ヲ來ルニ由リ場合又ハ需要ト供給トノ間均衡破レテ消

生産力消費ニ過ル場合ノ如キ是ナリ斯ノ如クシテ生産

ニ對スル消費ノ不均衡急激ニ起ルトキハ一般ノ經濟的活動ヲ停止シ社會經濟ノ
秩序的發展ヲ阻害スルニ至ル此經濟的活動ノ澁滞スル状態ヲ名ケテ經濟上ノ恐
慌ト云フ

恐慌ハ始メ或ル産業ノ部局ニ發現スルヤ其影響ハ獨リ此部局ノミニ止マラス其
産業者ノ資産及ヒ信用ノ減削ト共ニ此産業ニ賣リ又ハ貸シ若クハ之ヨリ買ヒ又
ハ借ル所ノ關係産業ニ波及シ延イテ一般ノ恐慌來ラ散布シ經濟界ヲシテ疑懼ト
困難トヲ感セサルモノナキニ至ラシム左レハ之ヲ豫防スルノ方策トシテ事前ニ
在リテハ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ生産ニ警戒ヲ加ヘ竝ニ其販路ヲ變更セシメ會社及ヒ
銀行ニ對シテ監督及ヒ保護ヲ加ヘ既ニ恐慌ノ端緒現ハルノトキハ成ルヘク其波
及ヲ防カンカ爲メニ同種相協力セシメ正貨ノ回收ヲ力メ豫メ割引及ヒ利子歩合
ヲ引上クル等時宜ニ應シ多少施設シテ效用アルモノナキニアラスト雖モ事一旦
爆發スルニ及ンテハ容易ニ鎮壓シ得サルノ恐アルカ故ニ根本的ノ豫防トシテハ
常ニ有窮ノ消費ヲ抑制シ生産力ニ信用ノ濫用ヲ抑ヘテ生産ト消費トノ均衡



040094-000-3

モ-18ホ

経済学原論

小林 丑三郎/述

M40

BDD-0076



日本大正四十年度

科

本



Vertical text at the bottom right edge of the page, possibly a page number or reference mark.